



とやま



大陸

Y U M E ・ T A I R I K U

2021.1

vol.123

CONTENTS

02 ■迎春

■1月2月3月コンベンションカレンダー

■INFORMATION

賛助会員募集

03 ■コンベンショントピックス

コンベンション開催報告

04 ■コンベンション・ボランティア研修会

【On-Line会議体験会】

雨晴海岸(高岡市)

富山湾越しに見る3,000m級の立山連峰の雄大な眺めは、四季それぞれに変化し、息を呑む美しさです。

Pick up
Convention

第41回日本肥満学会・ 第38回日本肥満症治療学会学術集会

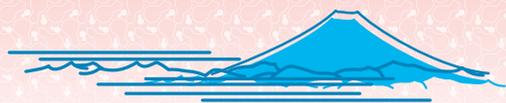
令和3年3月20日(土)～21日(日) 参加者: 会場 約500名
+Web 約500名
富山国際会議場

日本肥満学会・日本肥満症治療学会は肥満に関する研究を推進し、その病態や肥満による健康障害、治療に関する理解を深めることを目的とする学会で、今回は合同で開催致します。「肥満症研究で健康長寿への道を探る」「多職種で取り組むシームレス肥満症治療」をそれぞれの大会テーマとし、最新の研究結果発表と幅広い議論を通じて肥満症や肥満症に関連した疾患の治療に役立つ会を目指します。新型コロナウイルス感染予防対策として、会場での開催規模を縮小し、Web参加やオンライン配信も取り入れて全国を繋ぎます。





迎春



公益財団法人 富山コンベンションビューロー
会長 高木 繁雄

新年明けましておめでとうございます。

最近の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大で未曾有の危機下にあり、特に飲食業、観光・宿泊業を中心にサービス業が甚大な影響を受けているなど、先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、学会や全国会議等のコンベンションは、交流人口の拡大や観光客の増加、県内消費の拡大、産業の高度化等の効果が期待されるため、当財団としては、アフターコロナ時代を見据え、これまで以上に積極的にコンベンション誘致に努めてまいりたいと考えております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの国際会議や全国レベルの大規模なコンベンションが延期、中止とされました。

本年は、「2020とやま世界こども演劇祭」、「ISC2021 (国際カロテノイド学会)」、「COMNAP AGM XXXⅢ (南極観測実施責任者評議会第33回年次総会)」などの国際会議をはじめ、「日本肥満学会学術集会」、「日本ペインクリニック学会」、「日本臨床リウマチ学会」など、多くの大規模なコンベンションが予定されています。

当財団としては、県、市町村、民間団体等と広く連携を図りながら、積極的にコンベンション誘致に努めるとともに、歓迎看板の設置をはじめ、レセプションやアフターコンベンションへの各種支援施策等により、「富山で開催してよかった。」「また富山で開催したい。」と言われるよう、引き続き開催支援に努めてまいります。

今後とも、皆様方の温かいご支援、ご協力をお願い申しあげ、新年のご挨拶といたします。

春に備えて力を蓄える、安らぎに満ちた季節となりました。

1月 2月 3月 コンベンション・カレンダー



3月	4 ~5	動的画像処理実利用化ワークショップ2021 (DIA2021) 富山国際会議場 [210人] ハイブリッド開催	3月	20 ~21	第41回日本肥満学会・ 第38回日本肥満症治療学会学術集会 富山国際会議場 [1,000人] (会場500人・web500人) ハイブリッド開催
	5	富山市合同企業説明会 とやま自遊館 [500人]			

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後延期や中止等となる場合もあります。

INFORMATION

賛助会員募集中！ 役立つ特典がいっぱいですので、是非、ご入会ください。

【年会費】 法人：3口 (3万円) 以上 個人：1口 (1万円) 以上
【特典】

① **「コンベンションスケジュール」の提供**

最新の富山県内でのコンベンション開催予定を数年先の分まで収集し、A4版の冊子「コンベンションスケジュール」にまとめて年2回お届けします。

② **「食べ飲みマップ」に掲載**

飲食店など会員のお店の情報を掲載した「食べ飲みマップ」をコンベンション参加者などに配布するほか、当財団のホームページで紹介いたします。

③ **機関誌「とやま夢大陸」の提供**

年4回発行する機関紙「とやま夢大陸」をお送りしますので、大型コンベンションの内容や県内の情報がタイムリーに入手できます。

④ **「賛助会員交流セミナー」の開催**

コンベンションに関係する一流講師を招いてのコンベンションセミナーを開催します。

お問い合わせ (公財) 富山コンベンションビューロー

TEL 076-421-3300 URL <http://www.toyama-cb.or.jp>
Email toyama-213@voice.ocn.ne.jp

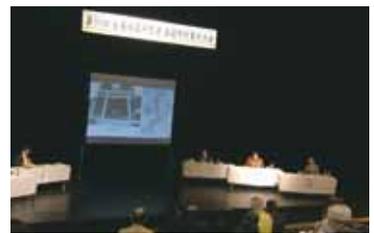
1 第39回全国地名研究者南砺市利賀村大会

- 日時：令和2年10月10日(土)～11日(日)
- 会場：利賀大山房
- 参加者：約100名

10月10日(土)～11日(日)に、南砺市利賀村の「利賀大山房」にて、第39回全国地名研究者南砺市利賀村大会が行われました。コロナ禍での開催となり、幾分縮小となっており、県外から約40名、村内や県内からは約60名が参加しました。

大会ではまず、富山大学の中井精一教授が「富山の方言と地名」をテーマに基調講演を行い、その後、休憩時間に利賀村むぎや節保存会による伝承の民謡が披露されたのち、「利賀・五箇山の魅力を語る」をテーマとしたシンポジウムが行われました。

これまでは1日に渡って研究発表が行われてきた全国大会ですが、今年は発表を半日に縮小しての開催となりました。しかし、かえって、発表内容が利賀の地名や歴史風土を中心としたものに絞られたため、内容がとても分かりやすく、地元の人間でも興味深いものとなり、「山村の歴史文化の奥深さが分かった」と、参加者から好評を得ることができました。

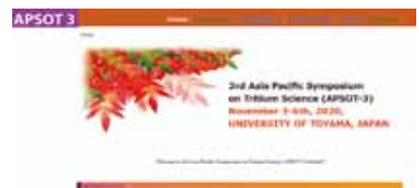


2 3rd Asia Pacific Symposium on Tritium Science (APSOT-3) 第3回 アジア太平洋トリチウム科学討論会

- 日時：令和2年11月3日(火)～6日(金)
- 会場：富山大学・水素同位体科学研究センター
- 参加者：120名(来場33名、オンライン参加87名、国内参加者59名、国外参加者61名)

富山大学水素同位体科学研究センターにおいて、11月3日(火)～6日(金)に3rd Asia Pacific Symposium on Tritium Science (第3回アジア太平洋トリチウム討論会)を開催いたしました。この討論会は3年ごとに行われ、綿陽市(中国)、リバモア(アメリカ)につづく3回目の開催となります。富山での今回の会議では、新型コロナウイルス感染症の影響により、富山大学内の会場と国内外の参加者をネットワークで結ぶ形式で口頭発表とポスター発表を実施しました。ネットワークで参加できるため、国外参加者の人数は当初予定していたより増加し、アメリカ、中国、韓国、ロシアの太平洋地区のみならず、カザフスタン、ドイツ、イタリア、スペイン、イギリスからも参加者がありました。

討論会では、将来のエネルギー源として期待される核融合炉の燃料としてのトリチウムの製造および制御に関する話題が多くを占めましたが、環境中のトリチウムの移動、トリチウムの測定も重要な課題として議論されました。次回は2023年に合肥市(中国)で開催される予定です。



3 令和2年度第51回全国学校保健・学校医大会

- 日時：令和2年11月14日(土)
- 会場：富山国際会議場・ANAクラウンプラザホテル富山
- 参加者：約602名(web参加含む)

「子どもたちを守り、はぐくむ」をメインテーマに、5つの分科会、新型コロナウイルス感染症に関する緊急メッセージの講演を行いました。また、表彰式では長年にわたり中部ブロックで学校保健活動に貢献された学校医、養護教諭、学校関係栄養士、計21名の方々が日本医師会長表彰を受賞。引き続き「学校における食物アレルギーの最近の話題」と題した基調講演と「健全な学校生活にむけて～医療と教育の連携～」をテーマにシンポジウムを行い、特別講演では「神の鳥、ライチョウを未来へつなぐ」と題して、富山市ファミリーパーク公社の石原祐司園長にご講演いただきました。最後に富山県立南砺平高等学校郷土芸能部による「越中五箇山民謡」を披露いただき大会は盛会裏に終了しました。



コンベンション・ボランティア研修会を開催 『On-Line会議体験会』

今年は新型コロナウイルスの影響で、予定されていた学会や大会等のコンベンションの多くが中止や延期になり、コンベンション・ボランティアの活動も殆ど行われていない状況です。このような中で、ボランティアの皆さんとの交流を図ることを目的に研修会を開催しました。

研修会は、10月29日(木)、11月11日(水)、17日(火)の3回にわたって行い、コロナ禍の中で増えてきているオンライン会議を体験してもらおうと、今回初めての試みとして、Zoomを使用して、ボランティアの方々の自宅とビューロー事務室とを繋いで実施しました。

第1回目の10月29日(木)は、常務理事の挨拶、参加者の自己紹介に続いて、現在のコンベンションの開催状況や今後の見通しなどについて事務局から説明し、その後フリートークでの質疑応答を行いました。

第2回目11月11日(水)は、富山市が10月から新たに始めた取り組みの「顔認証システム社会実験※1」と「訪日外国人向けAIチャットボットの導入※2」について、実際に利用した体験談などを交えて紹介しました。

第3回目11月17日(火)は、富山県の観光情報をテーマに、富山県PR動画や県内に新しくオープンした観光スポット施設等を紹介して、情報交換を行いました。

今回のオンライン会議は、時間も30分と制限があり、参加者も事務局を含め、毎回10名程度と少ない人数でしたが、参加されたボランティアの皆さんからは「オンライン会議体験の機会を設けていただきありがたかった」「Zoomの練習が出来て有意義だった」「今後もZoomを使用する機会を増やしてほしい」「ボランティア会員同士が会う機会がほしい」などの感想をいただきました。

コロナの影響で、ボランティア活動の再開も見通しがつかない状況ですが、今後もボランティアの皆さんとともに、コンベンションの支援に努めて参りたいと思います。

※1 顔認証システム社会実験

富山市内の飲食店や観光施設等において、顔画像とクレジットカード情報を登録することにより利用できる顔認証技術による決済システムを導入し、事業者や利用者に会計時の利便性を体感してもらい、その影響等を検証する社会実験。

※2 訪日外国人向けAIチャットボット

外国人観光客の英語による問い合わせに、おすすめの観光情報などを人工知能(AI)が回答するシステム。



編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響でコンベンションを取り巻く状況も大きく変化しました。今号で紹介した会議もオンラインを組み入れたハイブリッド方式で開催され、今後もその傾向が続くのではないかと予想されます。昨年予定されていたコンベンションの多くが今年以降に延期となっていますが、今年は現地で開催されるのを待ち望みたいと思います。

ようこそ、富山県へ

[編集・発行]



公益財団法人 富山コンベンションビューロー

〒930-0083 富山市総曲輪2-1-3 富山商工会議所ビル1F

TEL.076-421-3300 FAX.076-421-0963

URL: <http://toyama-cb.or.jp/> E-mail: toyama-213@voice.ocn.ne.jp FB: <https://www.facebook.com/toyamacvb/>

コンベンション開催の支援や
とやまの情報などは、
ホームページをご覧ください。

